

インドネシア共和国で石炭火力発電プロジェクトを受注

当社は、このたび、インドネシア共和国（以下、インドネシア）に新設する石炭火力発電所の建設プロジェクトを受注いたしました。

今回受注したプロジェクトは、PT.PLN（インドネシア国営電力会社）がインドネシア スラウェシ島南スラウェシ州バル県に新たに建設する出力 100MW の石炭火力発電設備（Sulsel Barru 2 石炭発電所）です。本プロジェクトは、三菱商事株式会社および現地企業の PT.Wijaya Karya(Persero) Tbk.(WIKA)のコンソーシアムが当社をパートナー企業としてフルターンキー契約で受注したもので、当社はプロジェクト管理、エンジニアリング、機器供給、据付工事及び試運転等 EPC*取りまとめを担当し、2021年3月の完工を目指します。

インドネシアは 13,000 以上の大小の島々で構成されており、本プロジェクトと同様に、島しょ部における電力需要も高まっている状況にあります。これらの地域において、当社が得意とする発電出力 50MW～150MW クラスの火力発電設備の受注に引き続き注力し、電力の安定供給と地域発展に貢献してまいります。

また、当社は、東南アジア地域を中心に、火力発電設備の EPC 案件及び主機（タービン発電機）単体での供給・据付工事案件や BOP（主機に付帯する設備）の供給案件など数多くの実績があります。現在契約交渉中のプロジェクトも複数あり、これらの案件を確実に取り込むとともに、アフリカや中東、中央アジア地域などにおいても、実績に裏付けされた技術力・信頼性により、営業活動を更に積極的に展開し、グローバル事業の拡大を目指してまいります。

*EPC：Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（施工・試運転）までの一括請負

以 上

本件に関する問合せ先

東芝プラントシステム株式会社 業務部 広報担当

TEL：045-500-7012

e-mail：kouhou@toshiba-tpsc.co.jp